愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	中国語総合Ⅱ		
担当者(Instructors)	張 金平	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	1	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

主に「中国語総合Ⅰ」レベルの内容を習得済みの学生を対象とする。「中国語総合Ⅰ」で行った授業の内容を踏まえて、さらに多くの構文や表現を学ぶ。実際に学生一人一人が練習したり問題を解く時間を多くとる。教科書は映像資料のついたものを使用して、楽しく、実際に使用される場面が理解しやすくなるよう工夫する。またそれと同時に、中国文化に関する理解と関心を高める配慮をする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	映像を見ながら、中国語の発音・文法・文字などを総合的に学ぶ。 語彙・語法の説明、教科書本文の和訳、練習問題（筆記）が中心である。また、原則として毎回発音指導をする。 学習上効果的と認めた場合、3回程度リモート授業を実施することがある。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の進め方についての説明他	□
第2回	第１１課　家庭訪問	助動詞、主述述語文、比較	□
第3回	第１２課　買い物	助動詞、動詞の重ね型、方向補語	□
第4回	第１３課　道案内	前置詞、日中同形異義語	□
第5回	第１４課　中秋節	年月日、曜日の言い方、前置詞	□
第6回	復習	復習	□
第7回	まとめと中間テスト	まとめと中間テスト	□
第8回	第１５課　食事の前は	時刻、時間量、禁止	□
第9回	題１６課　手作り料理	助動詞、結果補語、方位詞	□
第10回	第１７課　カニの季節	助動詞、前置詞、可能補語	□
第11回	第１８課　スキー場で	様態補語と程度補語、前置詞、二重目的語	□
第12回	第１９課　おみやげ	進行、値札つき	□
第13回	第２０課　空港まで	存現文、祈る言葉	□
第14回	復習	復習	□
第15回	まとめと期末テスト	復習、期末テスト	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

自分で授業前に教科書付属のＣＤまたはウェブストリーミング音声を聞き（３０分程度）、授業後に教科書の和訳、文法事項、練習問題の正解等を確認する（３０分程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

教科書和訳、練習問題は黒板に板書して、解説とともに解答例を全体で共有する。 原則として毎回発音指導をする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	初級中国語や中国社会、文化等に関連する幅広い知識を習得しながら専門知識を育み、それを活用することができる。

思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	初級中国語の語彙語法を踏まえた専門知識と自らの経験を基に、創造的に考えたうえで、基礎的な中国語の内容を的確に判断し、自在に表現、発信することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内実施筆記テスト、発音小テスト

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	相原茂ほか『日中いぶこみ交差点』朝日出版社	9784255452869
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		